

平成28年第4回市議会定例会は、12月2日から12月21日までの20日間を会期として開かれ、144人の方に傍聴にお越しいただきました。

この議会では、「平成27年度熊谷市一般会計、特別会計、企業会計決算」9件を認定および原案可決したほか、「平成28年度熊谷市一般会計補正予算」などの市長提出議案25件を審議し、23件を原案可決、2件の人事案件に同意しました。

また、議員提出議案1件を原案のとおり可決しました。

平成27年度熊谷市一般会計歳入歳出決算などを認定

公の施設の指定管理者の指定についてなどを可決

市長の提案説明

初日(12月2日)の本会議では、市長から次のような提案説明がありました。

「初めに、一般会計補正予算の主な歳出として**民生費**のうち、「経済対策臨時福祉給付金給付事業」は、国の補正予算に伴い、経済対策として所得の低い方々に対し臨時福祉給付金を支給するもので、28年度末から29年度にかけて支給を予定している。

商工費のうち、「観光協会法人化移行支援事業」は、交流人口の増加を図るため、ラグビーワールドカップ2019の開催を好機と捉え、観光地域づくりの推進主体として、観光協会を法人化するために必要な経費を計上する。

土木費は、「北大通線道路環境整備事業」として水路の暗渠化に伴う道路整備、「市道80034号線道路環境整備事業」として弥生地内の市道の歩道整備等を行うもので、いずれも国の補正予算に伴う

補助金を活用し、29年度実施を予定していた工事を前倒して実施する。



北大通線の暗渠化工事

歳入は、今回の補正の財源として、国・県支出金および市債などの特定財源のほか、前年度繰越金を充てる。

このほか、28年度中に業者選定から契約までの一連の準備行為を行う必要がある業務委託や指定管理などについて、債務負担行為を補正する。

特別会計の補正予算のうち、**国民健康保険特別会計**については、決算見込みを勘案し、所要額を補正する。

熊谷市熊谷都市計画事業土地区画整理事業特別会計では、

ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて、国の補正予算に伴う補助金を活用し、都市計画道路の整備を進める。

また、一般議案として、地方税法等の一部改正に伴い、環境に配慮した性能を有する軽自動車に係る軽自動車税の税率の特例の適用期間を延長すること等を定める「熊谷市条例等の一部を改正する条例」などを提案する。

審議の概要

12月2日の本会議では平成27年度一般会計、特別会計、企業会計決算9件を認定および原案可決し、本定例会における条例案や補正予算案が提案され、12月7日の本会議では、次の議案について質疑がなされました。

○公の施設の指定管理者の指定について(熊谷市スポーツ・文化村)

○平成28年度熊谷市一般会計補正予算(第3号)の中から「総合戦略」まち元氣・熊谷市商品券発行事業、「観光協会

法人化移行支援事業」(※質疑と答弁の内容は、市ホームページに掲載する会議録やインターネット中継録画放映でご覧になれます。)

その後、各議案は所管の常任委員会に付託され、8日には総務文教常任委員会および環境産業常任委員会において、9日には市民福祉常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案について、それぞれ慎重な審査が行われました。

最終日(21日)の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、全て原案どおり可決しました。また、追加の市長提出議案3件を全て原案どおり可決し、教育委員会委員の任命、公平委員会委員の選任について同意しました。

さらに1件の議員提出議案を原案どおり可決し、12月定例会は閉会しました。各議案の審議結果は次の表のとおりです。